

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和4年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

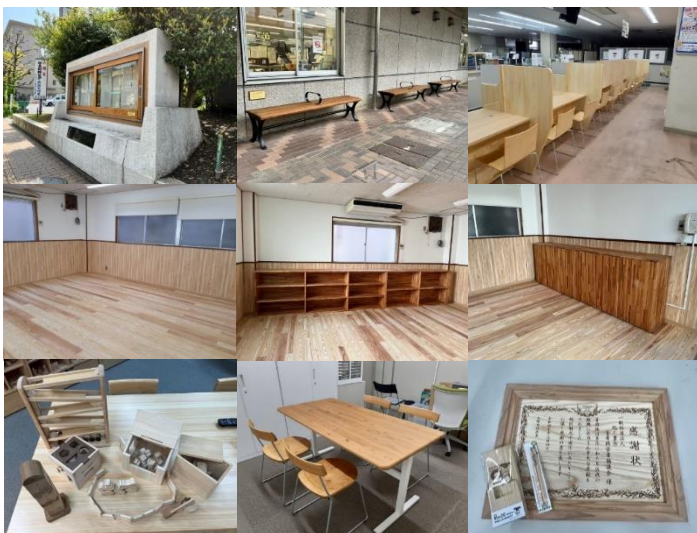
事業内容

国産木材を活用した旭区制90周年記念事業

- ・ 旭区制90周年の記念として、区役所正面にある掲示板を木質化するとともに来庁者が休憩できるスペースを整備し、木製ベンチを設置した。
- ・ 来庁者の一番目に触れる受付カウンターおよび、子育てに関する事業を実施するプレイルーム、相談ブースの什器類の木質化を行った。

【事業費】8,505千円（うち譲与税8,505千円）

【実績】木製掲示板・木製ベンチ3台・受付カウンター
プレイルーム木質化（約30㎡）・収納棚3台
ミーティングテーブルセット ほか



事業スキーム

- ・ 一般競争入札
- ・ 随意契約（比較見積）

工夫・留意した点

- ・ 来庁者が直接、木製品に触れる機会を提供し、木製品を通して、木の良さを実感でき、興味・関心を引く場の提供を行った。
- ・ 子どもや保護者等が利用する場所には、木材の温かみを感じ、子どもが触れても問題のない材質や塗料など安全面に特に留意した備品を選定した。
- ・ 相談ブースで使用する木製品については、落ち着いて相談できるように素材や色等に配慮した製品を選定した。

基礎データ

①令和4年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%		④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より